

広報 しろいし

2012

2

平成24年2月1日発行

□白石市のホームページ <http://www.city.shiroishi.miyagi.jp/>

邪気を払い災いを断ち切るとされる日本刀
 一年の無事を願い、今年もまた炎と向き合う
 鋼を鍛える鋳音が魂に響き渡る

特集

縁

【表紙写真】

1月2日、宮城県指定無形文化財（工芸技術）保持者の刀匠・宮城昭守さんと長男・典真さんによる「日本刀初打ち」が、大鷹沢三沢の日本刀鍛錬所で行われました。今年、満87歳を迎える昭守さんは、日本刀の原料となる玉鋼を熱しては鋳でたたき、薄く伸ばしてその品質を見る「玉つぶし」を行いました。日本刀には、災難を遠ざけ身を守る「お守り」としての意味合いもあり、作る人と持つ人のさまざまな思いが込められています。そして、昭守さんの思いは典真さんへと受け継がれています。